

# 比地震現地へ調整員

## AMDA派遣、被災者支援

国際医療ボランティアAMDA（本部・岡山市）は5日、フィリピン南部のミンダナオ島で10月下旬に発生した地震の被災者支援のため、同島出身の調整員大山マージョリーさん（47）を現地に派遣した。

大山さんはこの日午前、JR岡山駅を出発して関西空港経由で同国入りした。現地二ノズを踏まえ、6日以降に同島で具体的な活動を始める予定。大

山さんは「水と食料が不足していると聞く。被災者の気持ちが少ない。



しでも和らぐような活動をしたい」と話した。

AMDAによると、10月29日にマグニチュード（M）6・6、31日にはM6・5の地震が発生。5日現在、死者・行方不明者は23人で421人が負傷している。

（河内慎太郎）

出発前にスタッフと話すAMDAの大山さん（右）